



おぐら
尾倉

校訓
自主
創造
協力



令和4年6月27日(月)発行
校長 栗原博巳
北九州市八幡東区尾倉三丁目10番1号
HP: www.kita9.ed.jp/ogura-j/

＜学校教育目標＞

豊かな心を持ち、健やかでたくましく行動する生徒の育成～みんなで考え、みんなで取り組み、みんなでつくる尾倉中学校～

＜目指す生徒像＞

- ① 感性豊かで、意欲的、主体的に学習する生徒
 - ② 健康で明るく、思いやりのある生徒
 - ③ 礼儀正しく、奉仕の精神に満ちた生徒
- ◇ 元気のいい挨拶・礼儀・身なり・学習規律と集団生活における規律とマナー

●英語:リスニングがあまりできなかったので、授業中集中し、家でも買ってきたCDを聴く。

●社会:グラフやその問題の間違えが多かったので、関連付けて覚えるようにする。

全部の教科について、詳しく書いてみることで、成果と課題が分かります。

時間があれば、夏休みに問題をもう一回解いて、次に繋げましょう。点数や順位だけを見て、「よかった」「悪かった」と喜んだり、悲しんだりして終わりにしないようにしましょう。よかったことは中間考査に生かせばいいし、悪かったところは改善していけばいいと思います。大切なことは、よかったこと、悪かったことを忘れないことではないでしょうか。

④ テストはファイリングしよう

期末考査の問題や解答用紙はファイルに綴じておきましょう。2学期の中間考査の前に確認できるように保管しておきましょう。なぜ、問題用紙や解答用紙を保管するのでしょうか。もちろん、次の中間考査に生かすためでもあります。夏休み後の課題テスト、3学期の総まとめテストのためでもあります。一般に「実力テスト」と呼ばれるもので、このテストは範囲が広く、「習ったところ全部」が範囲です。範囲が広いと、勉強方法も迷いがちです。実力テスト前に何をすべきか迷ったときに、綴じてあるテストを解きなおすとよい復習になると思います。これまでの勉強内容を復習するのにぜひ「ファイル」を活用しましょう。もちろん、入試へ向けても同じことが言えます。

1学期期末考査終了！ほっと一息、でも・・・

3日間の期末考査が終わりました。夏休みま約1ヶ月。ほっとしているのも束の間、3年生は1・2年生の復習は少しずつ進んでいますか？授業や部活動で忙しい毎日ですが、「勉強時間0(ゼロ)」がないようにしましょう。どんなに疲れていても1日15分だけでも机に向かうようにしてください。簡単に言えば、中学校は「勉強をすることに慣れる」ことが大切です。3年生は目標高校受験まで悔いのない勉強ができるといいですね。

定期考査は、考査後も大切です。テストが返されたら、教科ごとに問題用紙、答案用紙、先生が配付した模範解答があれば、それらをまとめておきましょう(教科によっては、授業のプリントを綴じるファイルに綴じるよう指示があります)。クシャクシャにして通学バッグの奥に入っていないませんか？

今日の学校通信では、期末考査後にやっておきたい「4つ」のことを紹介します。

① すぐに答えに確認をしよう

通常の授業では、答案を返却した授業で行います。間違えた問題を自分の手で色ペンなどで書き直すことが大切です。書き直した答案は、もう一度集める教科もあります。

② 考査のやり直しをしよう

授業の先生が考査のやり直しのチェックをするなら、提出期限を守って出しましょう。2学期の中間考査では、期末考査の範囲がテストも範囲になる場合もあります。間違った問題をそのままにしておくと、それが積み重なって大変です。今のうちに、友達や先生に質問してやり直しをしよう。

③ 成績の記録と反省をしよう

期末考査のやり直しとファイルの整理が終わったら、反省をきちんと、詳しく書きましょう。反省は悪かったところだけ書くのではなく、期末考査でできた個所、勉強方法でよかったことなどを必ず書くようにします。良かったことは、2学期の中間考査でも続け、悪かったところは中間考査に生かすといいでしょう。例えば、次のように書くといいでしょう(あくまでも一例です)。

＜良かった勉強＞

○数学:教科書やワークの間違えた問題を何回も繰り返して、テストで間違えなかった。

○理科:実験で学んだことをきちんとまとめていたので、それが生かされた。

○国語:漢字の勉強を頑張ったので、漢字が全問正解できた。

＜中間考査に向けて生かしたい勉強＞

避難訓練がありました！

6月24日(金)に避難訓練<火災>を行いました。避難訓練には、次の3つのねらいがあります。① 生徒が避難の仕方を覚える ② 教職員が避難の仕方を確認する ③ 管理職が的確な指示を出して教職員と生徒を動かす です。特に、生徒の誘導に関しては、校舎内の生徒をグラウンドや体育館へ誘導し、各学年・学級ごとに並ばせます。校舎内から生徒が出てきて、本部の場所に並び始めた段階(各学年・学級の並ぶ場所がはっきりした段階)で、最初に避難してきた生徒を学年の場所へ並ぶように指示していきます。このとき、「歩いて移動する」ことを徹底させます。生徒は「走る」と声が出るので、「歩く」ことが「しゃべらない」ことにつながるからです。



(避難訓練・校長先生の話)避難訓練を行う意義は2つあります。まず、みなさんが周囲の状況から避難するときどう行動すべきかを自らが判断できるようになることです。次に、先生たちが災害発生時の対応からみなさん全員の避難が完了するまでの手順を再確認し、より迅速かつ安全な避難誘導を行うためです。今回は訓練なので、どの経路を選ぶのかが決まっていますが、実際の災害では想定しなかったようなことも起こります。災害時に大切なのは「指示をしっかりと聞き、考えて行動できること」です。予期せぬ災害、想定外の被害に対して、臨機応変に、落ち着いて適切な対応が取れるようにするために、避難訓練を通して、皆さん一人一人の防災に対する意識をより高めてください。最後に、避難訓練は毎学期予定しています。これらの訓練はみなさんや先生方、家族、友だちの「いのち」を守るためです。「いのち」に関わることはこれからも真剣に取り組んでください。以上で先生の話が終わります。